

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15032

NPO・ボランティア推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	10	地域コミュニティの充実
施策	1	地域コミュニティの充実
取組方針	1	コミュニティ活動への支援

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	自治振興課	山下英二 435-1011
事業実施の根拠法令	和歌山市NPO・ボランティアサロン使用基準		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	ボランティアなどの市民公益活動に関わる市民や団体の「活動の拠点」「情報の収集場所」「交流の場」「相談窓口」を提供することでその活動を支援する。		「NPO・ボランティアサロン」を活動の場として提供し、当課に登録をしている団体に「NPO・ボランティアサロン」の会議室等の無料貸出しや印刷機等の設備の貸出しを行うこと、またボランティア保険料を負担することで市民公益活動を支援する。また登録団体による交流会等を開催、またサロンスペースを通じて情報交換・情報収集の手助けとする。			
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	NPO・ボランティアサロンの機能の充実と登録団体間の交流を図り、ボランティア参加を促進した。	以下の内容は平成31年度以降、自治振興課で実施する。地域と学生を繋げるプラットフォームとしての機能を持たせた地域連携拠点「和歌山市地域フロンティアセンター」を活用し、多様な主体の連携・交流を促進するとともに、地域の活性化を図る。	以下の内容は平成31年度以降、自治振興課で実施する。地域と学生を繋げるプラットフォームとしての機能を持たせた地域連携拠点「和歌山市地域フロンティアセンター」を活用し、多様な主体の連携・交流を促進するとともに、地域の活性化を図る。			

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	15,065	14,520	20,927	0	20,927	0	0	0	0	0
伸び率(%)	△0.4%	△0.2%	38.9%	△100%	0%	0%	△100%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	11,909	16,944	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員以外	1,541	1,541	0	0	0	0	0	0	0
	小計	13,450	18,485	0	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	9,108	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	15,065	14,520	11,819	0	20,927	0	0	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	1.49	2.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.76	0.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	建物借上料12,790千円 ボランティア活動保険料1,307千円など									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
NPO・ボランティアサロンを使用している団体数(利用状況)	団体	目標値	800	800	800			
		実績値	735					
		達成度(%)	91.9%	%	%	%	%	%
登録団体による交流開催回数	回	目標値	8	8	8			
		実績値	13					
		達成度(%)	162.5%	%	%	%	%	%
NPO・ボランティア団体の登録団体数	団体	目標値	400	400	400			
		実績値	422					
		達成度(%)	105.5%	%	%	%	%	%
ボランティア登録者総数	人	目標値	29000	29000	29000			
		実績値	29890					
		達成度(%)	103.1%	%	%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい		一部見直しが必要	○ 見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	NPO・ボランティア団体の登録団体数やボランティア登録者数は目標値を上回ってきているが、利用団体数については横ばいであるため、今後は会議室等のサロン利用者数の増加を図っていく必要がある。
見直し・改善内容	NPO・ボランティアサロンを「和歌山市地域フロンティアセンター」として強化する。具体的には年末年始祝日以外の全日開館時間を9:00~21:00とするなど開館時間を延長する。(現行は年末年始祝日及び金曜日休館、土日は17時まで)また、市民公益活動団体のみならず大学、商店街も利用できることとすることで利用者数の増加を図り、結果として地域・NPO・学生等多様な主体の連携・交流を促進するとともに、地域の活性化を図る。また壁面ホワイトボードやコネクトボード設置による情報発信や交流会・各種セミナーの開催により団体間の交流を促進していく。